

岩 運 整 第 5 4 1 号
令 和 6 年 2 月 2 6 日

管内タクシー事業者 各位

岩手運輸支局長
(公 印 省 略)

タクシーの安全運行の徹底について

本年に入り、横断中の歩行者や路上横臥者と衝突する死亡事故が立て続けに発生しています。

令和5年の1年間にタクシー事業者が引き起こした死亡事故は、速報ベースで33件の報告があったところですが、本年は既に8件（内、21時以降の夜間の事故が6件）の報告があり、このままでは半年で去年の件数に達するペースであり、大変憂慮すべき状況です。

また、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、タクシーについては令和7年度までに死者数25人以下を目標として、対歩行者事故防止の施策を官民一丸となって取り組んでいるところです。

改めて、輸送の安全確保のため下記について徹底をお願いします。

記

- (1) 歩行者や路上横臥者を早めに発見するため、夜間は昼間よりも速度を落として走行するとともに、前照灯の上向き・下向きのこまめな切り替えを行うこと。
- (2) 見通しの悪い交差点では徐行や停止すること。

【参考】令和6年に発生したタクシーの死亡事故

令和6年2月19日現在、事業者から速報があったもの

	発生日	曜日	時刻	発生場所	死者数	当時の状況
1	R6.1.6	土	21:03	宮城県仙台市 (市道)	1	1月6日(土)午後9時3分頃、宮城県仙台市の片側2車線の市道において、回送運行中の法人タクシーが第1車線を運行中、道路を右から横断中の歩行者をはねた。 この事故により、当該歩行者が死亡した。 事業者によると、当時法人タクシーは速度73km/hでロービームで走行しており、衝突直前で歩行者を発見したがブレーキをかけるの間に合わなかったとのこと。
2	R6.1.10	水	22:15	長崎県長崎市 (市道)	1	1月10日(水)午後10時15分頃、長崎県長崎市の片側1車線の市道において、同県に営業所を置く法人タクシーが空車で運行中、道路上にいた歩行者をはねた。 この事故により、当該歩行者が死亡した。 現場は、路面電車の軌道敷があるトンネルで、歩行者は通行できない区間であった模様。
3	R6.1.13	土	1:50	東京都豊島区 (都道)	1	1月13日(土)午前1時50分頃、東京都豊島区の片側2車線の都道において、東京都に営業所を置く法人タクシー①が乗客1名を乗せ第1車線を運行中、道路上の歩行者をはねてそのまま走り去った。 その後、同日午前1時52分頃、同一場所において、東京都に営業所を置く法人タクシー②が乗客4名を乗せ第1車線を運行中、路上に横臥していた法人タクシー①にはねられた歩行者を轢いた。 この事故により、当該歩行者が死亡した。
4	R6.1.14	日	21:34	東京都東久留米市 (市道)	1	1月14日(日)午後9時34分頃、東京都東久留米市の市道において、東京都に営業所を置く法人タクシーが乗客2名を乗せ運行中、乗客1名を降車させ車両を後退させた際に、降車した歩行者をはねた。 この事故により、当該歩行者が死亡した。
5	R6.1.27	土	2:00	沖縄県宜野湾市 (国道)	1	1月27日(土)午前2時00分頃、沖縄県宜野湾市の国道において、同県に営業所を置く乗客1名を乗せた法人タクシーが片側3車線道路の第2車線を運行中、道路に横たわっていた歩行者を轢いた。 この事故により、当該歩行者が搬送された病院で死亡した。
6	R6.2.11	日	10:15	長崎県長崎市 (国道)	1	2月11日(日)午前10時15分頃、長崎県長崎市の国道において、同県に営業所を置く福祉タクシーが乗客2名を乗せて運行中、赤信号で停車するためブレーキを踏んだところ、車いすに乗車中の乗客の上半身が前に倒れ負傷し、その後容態が悪化し、死亡した。
7	R6.2.14	水	13:15	神奈川県横浜市 (市道)	1	2月14日(水)午後1時50分頃、神奈川県横浜市において、同県に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、T字路から国道へ歩道を跨いで右折して出る際に、歩道を歩いていた歩行者をはねた。 この事故により、当該歩行者が死亡した。 事業者によると、現場に一時停止の標識はなく、一時停止をすることなく進行したが、運転者は前方の歩行者に気付く様子がなくはねたとのこと。
8	R6.2.18	日	4:18	北海道札幌市 (道道)	1	2月18日(日)午前4時18分頃、北海道札幌市中央区道道において、北海道に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、対向車線にはみ出し対向してきたトラックと衝突した。 この事故により、当該タクシーの乗客が死亡、タクシー運転者及びトラック運転者は軽傷を負った。 タクシー事業者によると、事故現場は片側2車線の緩い左カーブで除雪された第2車線を走行していたが、路面はアイスバーン状態であったためスリップし左カーブを曲がりきれず、対向車線にはみ出したとのこと。

※1. 2. 3. 4. 5. 7. は対歩行者事故